

DENDEN

PRESS

4

2026
April
No.52

八代の民俗芸能
祭りを知るならこの1枚！



4月29日（水・祝）開催
印鑰神社神社春季大祭 鮒取神事（15:15頃開始）

民俗芸能の魅力紹介

鏡が池鮒取神事



いよいよ新年度になって、心機一転、新しい目標を立てる人もいるかな？ぼくとしては、ぜひ市内のお祭りや民俗芸能に興味を持ってほしいな。

さて、お祭りでんでん館のお宝ギャラリーでは、4月7日（火）から「鏡が池鮒取神事」に関する展示を行うよ。みんなは実際にお祭りを見たことがあるかな？鏡が池に締め込み姿の男性が飛び込んで、池のフナやコイを捕まえて神様に捧げる神事で、鏡町印鑰神社の春季大祭なんだ。泥を観客に投げる様子は見たことがあるかもしれないね。以前は、毎年4月7日に行われていたけど、令和6年から4月29日の昭和の日に行われているよ。もっと昔は、1月7日の冬に鏡が池に氷が張る中、神事が行われていたんだって〜！びっくりだよ〜！

展示では、今どうやってお祭りが行われているのかなど、鮒取神事に関連することを展示するよ。生きているフナやコイはさすがに展示できないけど、展示を見て、実際のお祭りも見に行ってくると嬉しいな◎展示は7月12日（日）までだよ。



笠鉾ビフォー・アフター続き

〇〇の大トリ？

西王母大变身！



お祭り博士じゃよ。2月号でさらに美しくなった西王母を紹介したが、その続きじゃ。

西王母を出す通町では、厄晴記念に西王母の衣装の寄付をする人がいたようで、丸帯を使って仕立てた衣装を使っていたんじや。今回も同様にといいことだったんじやが、丸帯は今ではほとんど目にする機会のない帯。何とか探し出した新品の帯を使って作られた衣装は、キラキラと輝いていて、それを身につけた姿はまるで年末恒例の歌番組の大トリ：じゃなくて美しくも貴族があり、「女神降臨」という感じじゃ。元は陰陽すべての力を持つ西王母なんじやからこれくらいの衣装を着せないといかんのじやよ。写真は後ろ姿でもっとたいぶっているように思っかもしれんが、大变身した西王母はぜひでんでん館で直接見て欲しいぞよ。



4月からも笠鉾スタンプ継続中！

笠鉾スタンプ

4/12(日)
～5/9(土)



かぐらちゃん

かぐらちゃんの「でんでんつれづれ日記⑬」

～民俗芸能の伝承活動 鏡小学校編～

最近、花粉が飛び交って目がかゆくてたまりませんが、桜が咲き始めて嬉しい気分にもなる季節になりましたね。今回は、あまり知られていない、民俗芸能の伝承活動を見学させていただいたので、ご紹介します♪

小学4年生のみなさんは、地域の歴史や文化について授業で学びますが、鏡小学校では干拓の歴史や大鞘節かんたくを学んでいます。大鞘節を学ぶときには、鏡小校区の芝口大鞘節保存会の皆さんが来てくれました♪大鞘節の話や実演に児童たちは、興味津々でたくさん質問もしていました◎踊りも複雑な足の動きや手の動きに苦戦していましたが、保存会の方々の熱心な指導があり、40分ほどで踊れるようになったんですよ！

そして、2月19日に行われた、鏡小の学習発表会では保護者の前で大鞘節を堂々と披露されました♪これを機会に自分が住んでいる地域の文化財に興味を持ったり、いろんな人に教えてくれたりしてくれると嬉しいです(^^)



芝口大鞘節保存会の方に踊りを教えてもらっている様子

おしらせ

やつしろ文化財講座①

とき 4月19日(日)
10時～11時

ところ お祭りでんでん館 会議室
演題 「鏡町印鑰神社の鮒取神事」
講師 お祭りでんでん館
学芸員 北原美希

八代市の学芸員が八代の歴史と文化を深掘りする講座の1回目。

今回は、鏡町印鑰神社で毎年4月29日(昭和の日)に行われる奇祭、「鮒取神事」がどのようなお祭りなのかを紹介します。お祭り前にぜひご来場ください。

定員 40人 事前申込不要

問合せ先 お祭りでんでん館
TEL 37-8737



(上)鮒取り神事の様子



(左)神前に供えられた鮒

お祭りでんでん館(八代市民俗伝統芸能伝承館) 〒866-0863 熊本県八代市西松江城町1-47
TEL 0965-37-8737 FAX 0965-37-8738 MAIL bunka@city.yatsushiro.lg.jp



でんでんHP



Instagram



会議室予約